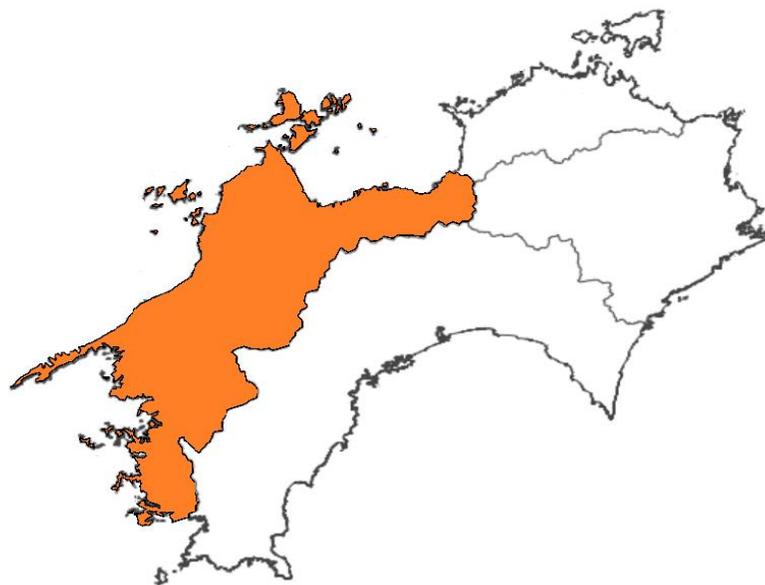


愛媛県内経済情勢報告

令和6年10月



財 務 省
松 山 財 務 事 務 所

愛媛県内経済情勢報告

	令和6年7月判断	令和6年10月判断		総括判断の要点
			7月判断との比較	
総括判断	持ち直しのテンポが緩やかになっている	持ち直しつつある		<p>個人消費は、家電で順調となっているほか、コンビニエンスストアやホームセンターで堅調となっていることから、全体としては持ち直しつつある。</p> <p>生産活動は、汎用・生産用機械で持ち直しの動きに一服感がみられるものの、プラスチック製品で緩やかに持ち直しつつあるほか、繊維で一進一退の状況にあることから、全体としては一進一退の状況にある。</p> <p>雇用情勢は、持ち直しの動きに一服感がみられる。</p>

【先行き】

先行きについては、所得環境が改善する下で、各種政策の効果もあって、緩やかに持ち直していくことが期待される。ただし、物価上昇、金融資本市場の変動等の影響に十分注意する必要がある。

項目	令和6年7月判断	令和6年10月判断	
			7月判断との比較
個人消費	持ち直しのテンポが緩やかになっている	持ち直しつつある	
生産活動	一進一退の状況にある	一進一退の状況にある	
雇用情勢	持ち直しの動きに一服感がみられる	持ち直しの動きに一服感がみられる	
公共事業	前年度を下回っている	前年度を上回っている	
住宅建設	前年を下回っている	前年を上回っている	
設備投資	6年度は前年度を上回る見込みとなっている	6年度は前年度を上回る見込みとなっている	

※ 6年10月判断は、前回6年7月判断以降、足下の状況までを含めた期間で判断している。

個人消費

個人消費 持ち直しつつある

○百貨店・スーパーは、衣料品に弱さがみられるものの、飲食料品が堅調であることから、全体としては底堅いものとなっている。

○コンビニエンスストアは、デザートや飲料等に動きがみられることから、全体としては堅調となっている。

〔愛媛県内地域経済に関する生の声〕

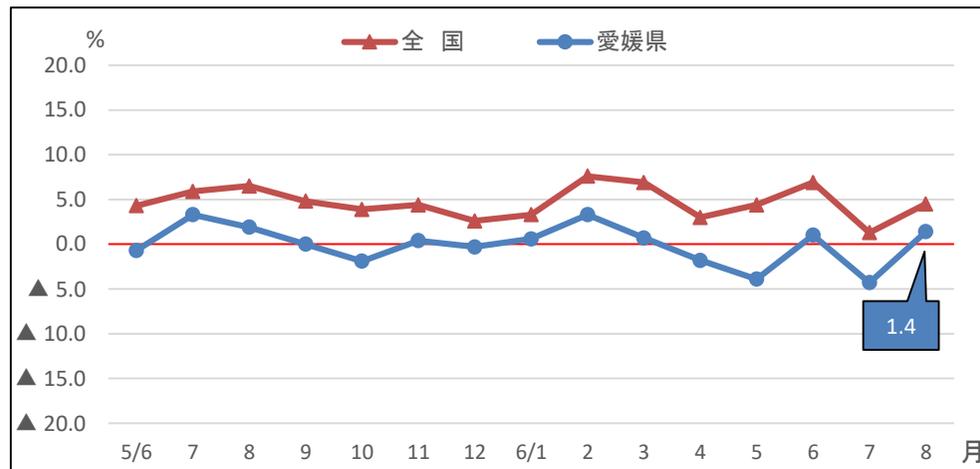
《百貨店・スーパー》

○猛暑の影響で、秋物衣料の動きが鈍い。飲食料品は引き続き堅調であり、スーパーでは野菜や飲料のほか、米が売上を大きく伸ばした。

《コンビニエンスストア》

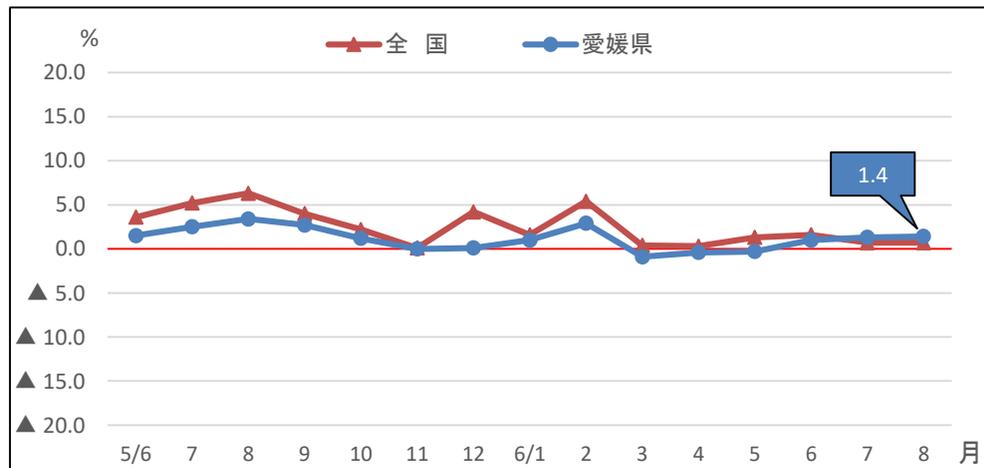
○猛暑の影響で、スムージーやアイスコーヒーといった冷たい飲み物の売上が大きく伸びた。そのほかシュークリームが好調であり、スイーツ全体の売上の伸びを牽引している。

〔百貨店・スーパー販売状況(前年同月比)〕 (注)全店舗ベース



【出所】経済産業省、四国経済産業局

〔コンビニエンスストア販売状況(前年同月比)〕



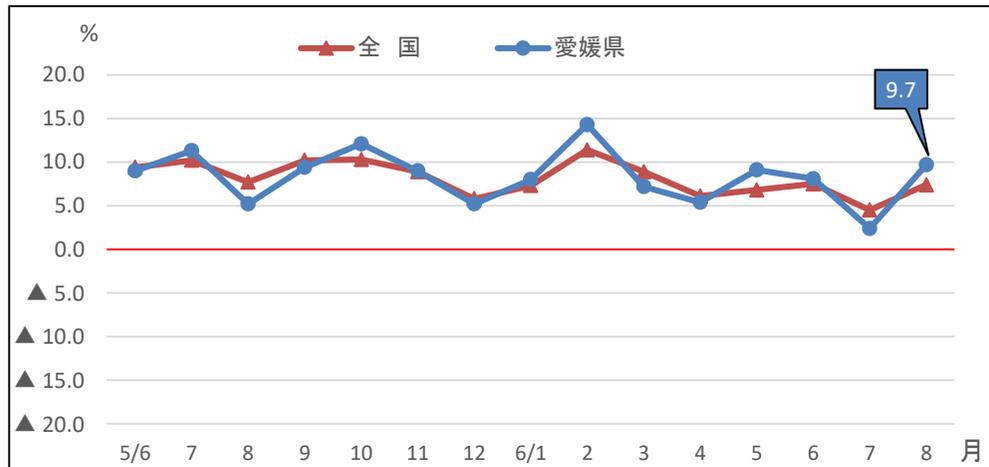
【出所】経済産業省、四国経済産業局

個人消費

○ドラッグストアは、化粧品等に動きがみられるほか、飲食料品が好調であることから、全体としては好調となっている。

○家電大型専門店は、エアコンや扇風機が好調であることから、全体としては順調となっている。

【ドラッグストア販売状況(前年同月比)】



【出所】経済産業省、四国経済産業局

〔愛媛県内地域経済に関する生の声〕

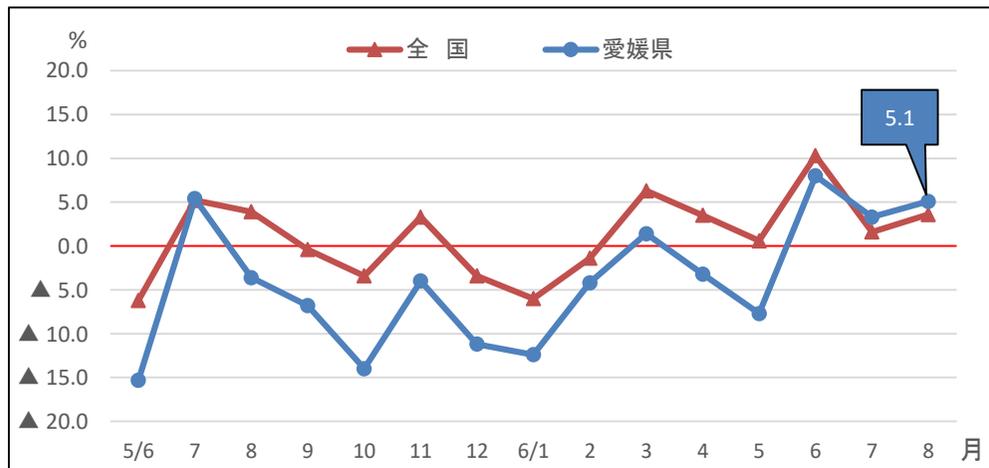
《ドラッグストア》

○南海トラフ地震臨時情報(巨大地震注意)の発表に伴い、ミネラルウォーター、レトルト食品、紙製品などが売上が大きく伸ばした。

《家電大型専門店》

○猛暑の影響で、エアコンや扇風機が好調。そのほか県のキャンペーンにより、テレビや冷蔵庫などの省エネ家電が売上が伸ばした。

【家電大型専門店販売状況(前年同月比)】

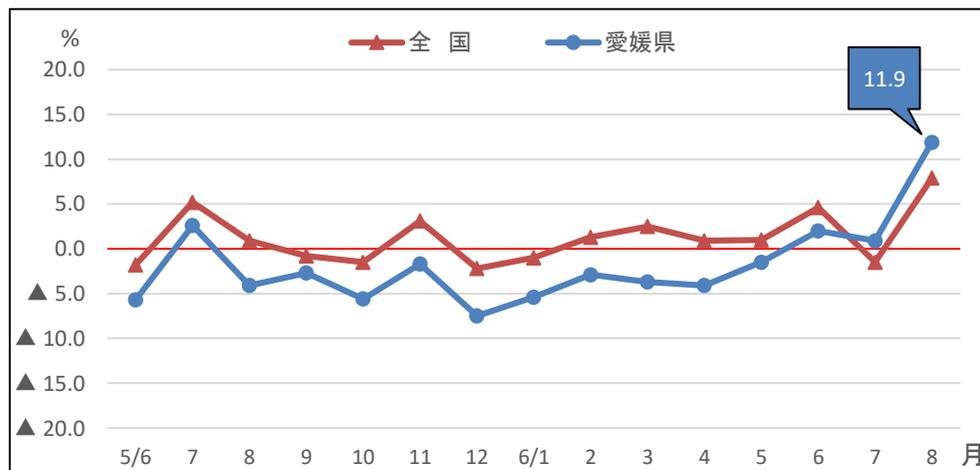


【出所】経済産業省、四国経済産業局

個人消費

- ホームセンターは、防災用品等に動きがみられることから、全体としては堅調となっている。
- 乗用車の新車登録・届出台数は、小型車で前年を下回っているものの、普通車、軽乗用車で前年を上回っていることから、全体としては前年を上回っている。
- 観光は、国際線の再開による外国人観光客の増加がみられ、緩やかに回復している。
- 旅行は、海外旅行は緩やかに持ち直しつつあり、国内旅行は持ち直しのテンポが緩やかになっている。

〔ホームセンター販売状況(前年同月比)〕



【出所】経済産業省、四国経済産業局

〔愛媛県内地域経済に関する生の声〕

《ホームセンター》

- 南海トラフ地震臨時情報(巨大地震注意)の発表に伴い、転倒防止グッズやカセットコンロ、懐中電灯などの防災用品が売上を大きく伸ばした。

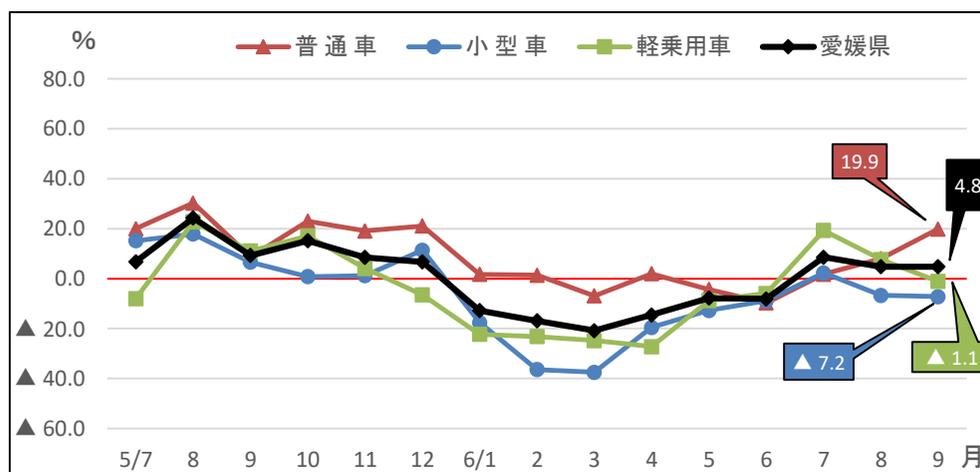
《乗用車》

- 自動車メーカーの不正問題による影響を受けていた車種が生産を再開したことなどから、販売状況は徐々に回復するとみている。

《観光・旅行》

- 国際線の再開等により、韓国や台湾からの外国人観光客が多くみられるほか、チャーター便を利用した海外旅行に人気が集まっている。

〔愛媛県の乗用車新車登録・届出台数(前年同月比)〕



【出所】四国運輸局

生産活動

生産活動

一進一退の状況にある

- 輸送機械は、一定量の受注残を維持しており、横ばいの状況にある。
- 汎用・生産用機械は、農業用機械が減少していることなどから、持ち直しの動きに一服感がみられる。
- 電気機械は、需要に引き続き落ち込みがみられるなど、弱含んでいる。

[愛媛県内地域経済に関する生の声]

《汎用・生産用機械》

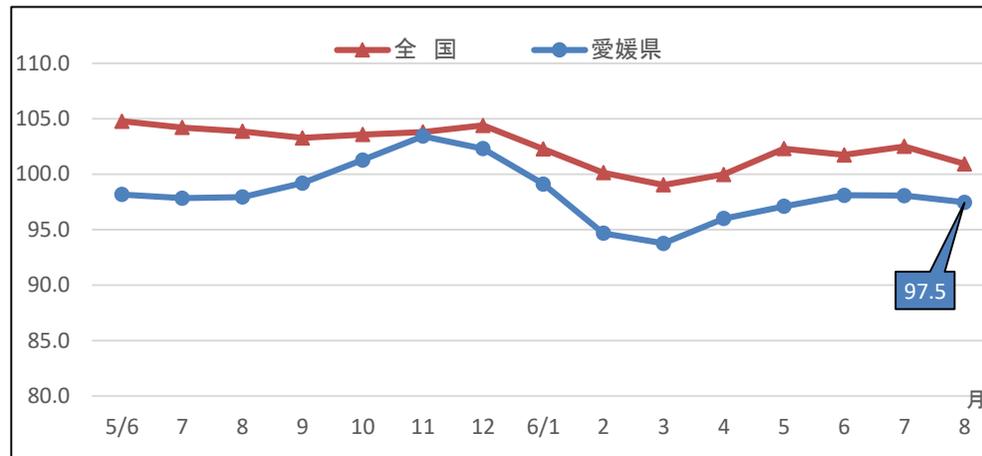
- 農業用機械は、農家の減少に伴い国内需要が減少しており、厳しい状況にある。

《電気機械》

- 中国向けの需要に引き続き落ち込みがみられるほか、自動車メーカー不正の影響により、出荷量を減らしている。

[鉱工業生産指数(3ヶ月移動平均・季節調整済指数)]

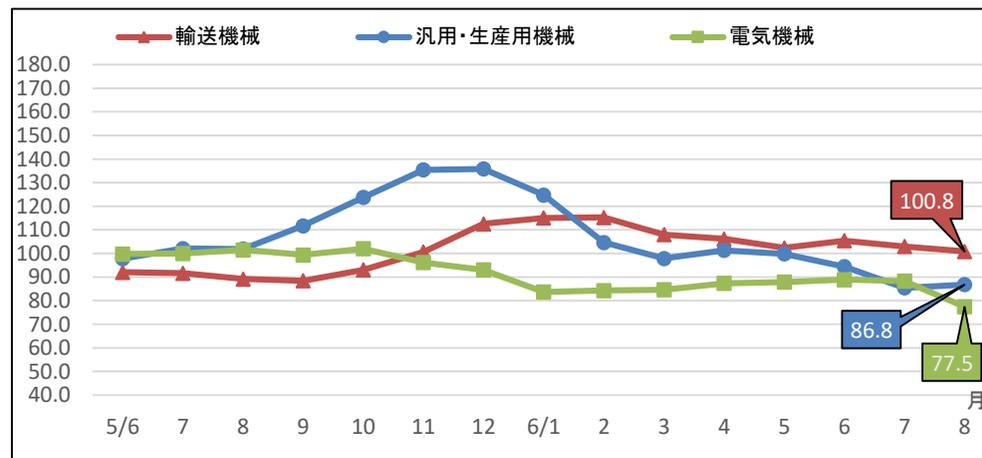
(令和2年=100)



【出所】経済産業省、愛媛県

[愛媛県の鉱工業生産指数(業種別・3ヶ月移動平均・季節調整済指数)]

(令和2年=100)



【出所】愛媛県 5

生産活動

- 化学は、横ばいの状況にある。
- 非鉄金属は、回復しつつある。
- 食料品は、外食向けやホテル向けで動きがみられることから、緩やかに持ち直しつつある。
- パルプ・紙は、印刷用紙などの需要に弱さがみられることから、弱含んでいる。
- 繊維は、一進一退の状況にある。
- プラスチック製品は、緩やかに持ち直しつつある。

〔愛媛県内地域経済に関する生の声〕

≪繊維≫

○中国の景気後退の影響が続くなか、自動車メーカー不正の影響も残っている。

≪プラスチック製品≫

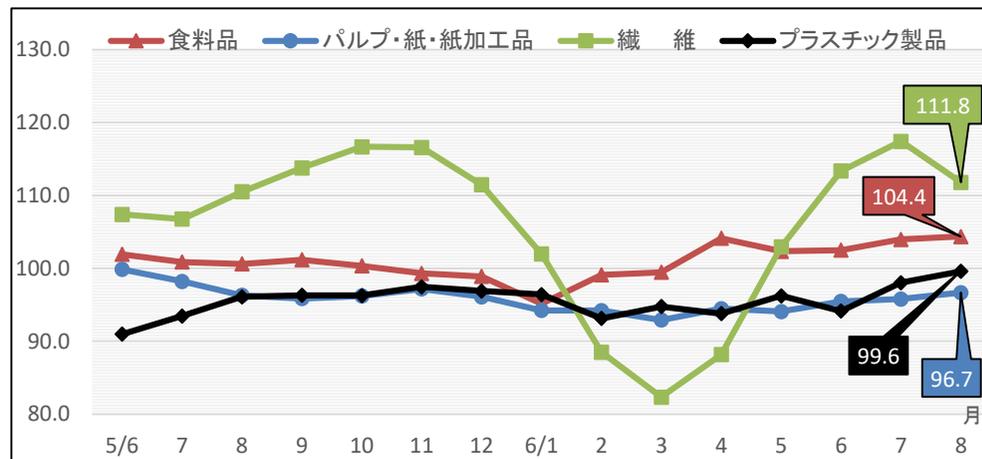
○去年は値上げによる駆け込み需要の反動減があった。現在は例年の水準に戻ったとみている。

〔愛媛県の鉱工業生産指数(業種別・3ヶ月移動平均・季節調整済指数)〕

(令和2年=100)



【出所】愛媛県



【出所】愛媛県

雇用情勢

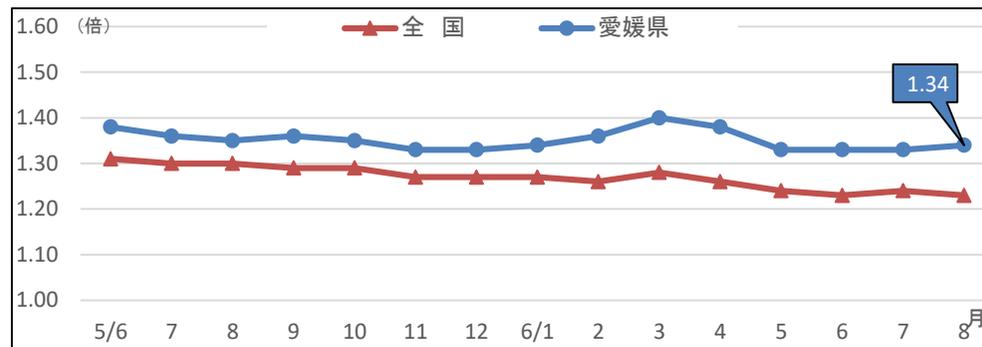
雇用情勢

持ち直しの動きに一服感がみられる

○有効求人倍率は、持ち直しの動きに一服感がみられる。

○新規求人数は、前年を下回っている。

〔有効求人倍率(季節調整値)〕



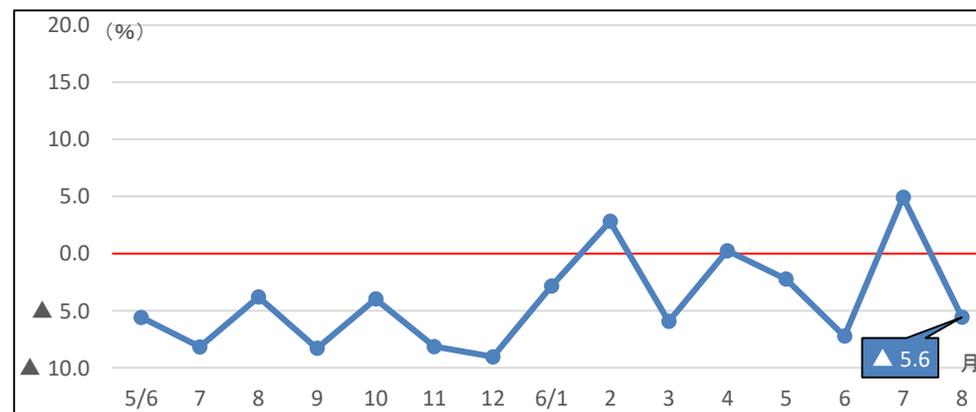
【出所】厚生労働省、愛媛労働局

〔愛媛県内地域経済に関する生の声〕

《労働局》

- 物価や人件費の上昇が新規求人数に影響を与えている可能性がある。従来から多くの業種で人手不足感が続くなか、「卸売業、小売業」、「建設業」、「宿泊業、飲食サービス業」など多くの業種において新規求人数が前年同月を下回っている。

〔愛媛県の新規求人数 (原数値・前年同月比)〕



【出所】愛媛労働局

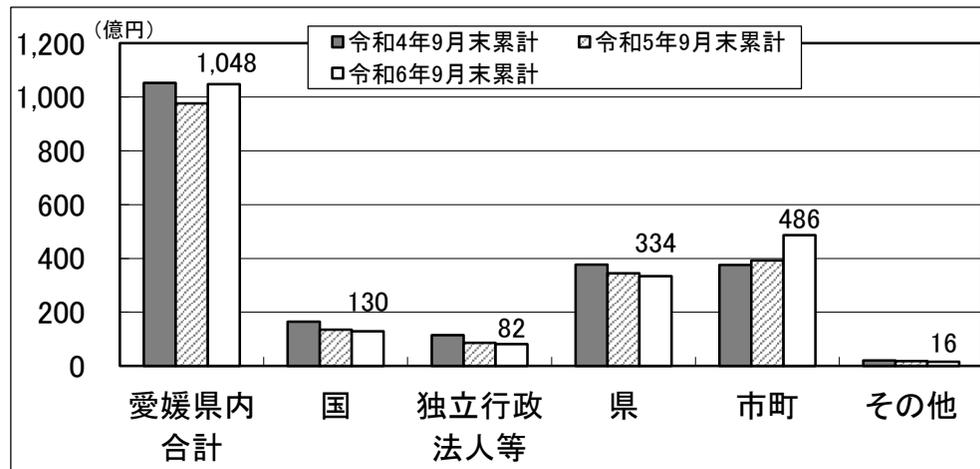
公共事業・住宅建設

公共事業

前年度を上回っている

○前払金保証請負金額でみると、国、独立行政法人等及び県で前年度を下回っているものの、市町で前年度を上回っていることから、全体としては前年度を上回っている。

〔愛媛県の公共工事前払金保証請負金額(9月累計額)〕



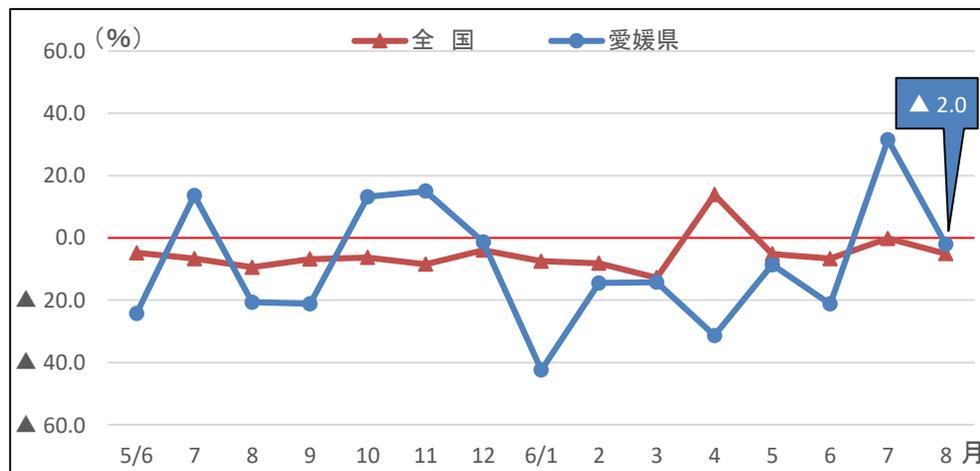
【出所】西日本建設業保証(株)等

住宅建設

前年を上回っている

○新設住宅着工戸数でみると、持家で前年を下回っているものの、分譲で前年並みとなっており、貸家で前年を上回っていることから、全体としては前年を上回っている。

〔新設住宅着工戸数(前年同月比)〕



【出所】国土交通省

〔利用関係別着工戸数(愛媛県)〕

	前期(令和4年9月~令和5年8月)				今期(令和5年9月~令和6年8月)				前年同期比 (6月~8月)
	9月~11月	12月~2月	3月~5月	6月~8月	9月~11月	12月~2月	3月~5月	6月~8月	
持家	824	819	718	823	723	602	643	763	▲7.3%
貸家	611	379	451	542	728	257	324	625	15.3%
分譲	283	252	231	237	287	316	178	237	0.0%
合計	1,745	1,453	1,403	1,629	1,756	1,199	1,147	1,668	2.4%

※合計は給与住宅を含む

【出所】国土交通省

設備投資・（企業倒産）・（消費者物価）

設備投資

6年度は前年度を上回る見込みとなっている

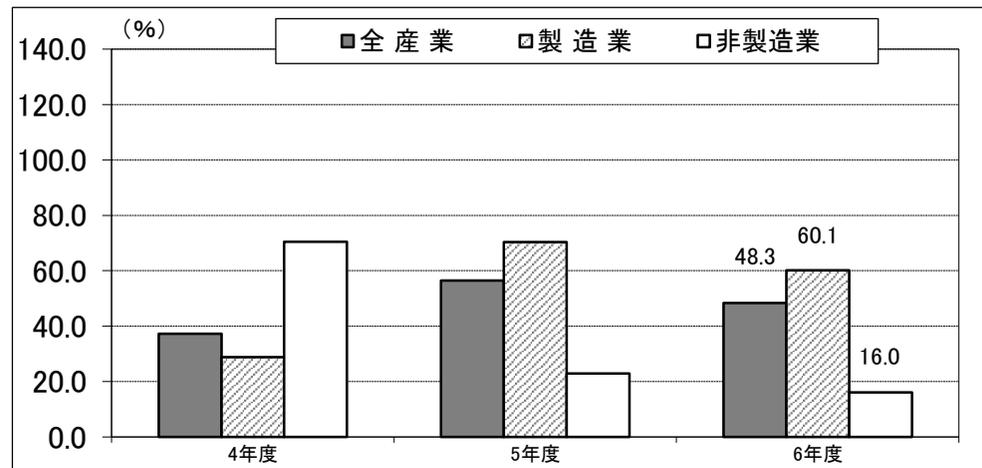
（企業倒産）

件数は前年を下回っているものの、負債総額は前年を上回っている

（消費者物価）

前年を上回っている

〔設備投資額 前年度比(愛媛県)〕

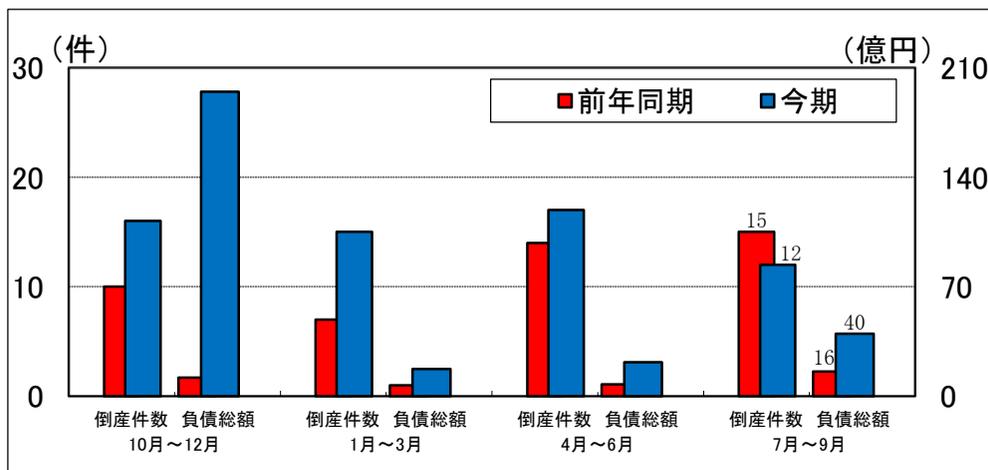


※ソフトウェア含む、土地除く

※令和4年度は令和5年1-3月期、令和5年度は令和6年1-3月期、令和6年度見込みは令和6年7-9月期の法人企業景気予測調査結果

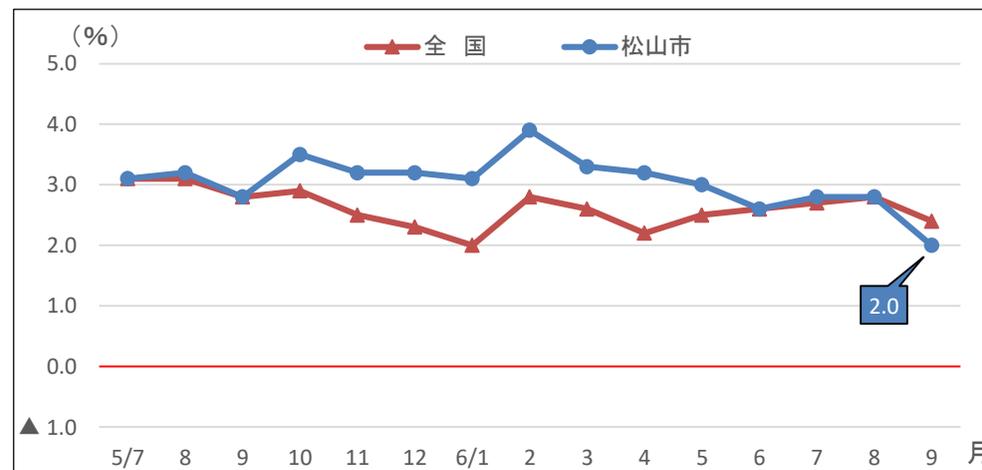
【出所】四国財務局松山財務事務所

〔倒産件数、負債総額(負債額1,000万円以上、愛媛県)〕



【出所】(株)東京商工リサーチ松山支店

〔消費者物価指数(生鮮食品を除く総合:前年同月比)〕



【出所】総務省

※計数は、季節調整替え、基準改定、速報の確報化、誤計数の判明等により、過去に遡って訂正される場合があるので、利用される場合は、各発表機関の直近の公表データをご確認ください。

■お問い合わせは

TEL (089) 941-7185

総務課(内線610)又は

財務課(内線630)へ